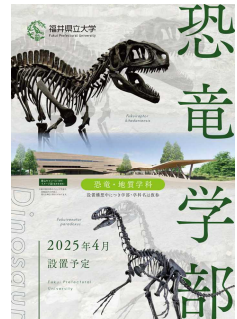


## 恐竜学部の誕生

新しいカリキュラムでの大学入試になった今年の大学入試選抜はほぼ終わりを迎え、新入生を迎える準備に忙しいことと思いますが、何と言っても今年注目を浴びた学部と言えば、福井県立大学(勝山市)に開設される恐竜学部でしょう。福井県立大は 6 学部構成で、恐竜学部は恐竜・地質学科の 1 学科構成です。福島県立恐竜博物館(勝山市)に隣接する場所に隈 研吾さん設計の新キャンパスが作られ、恐竜化石の研究をはじめ、地質や地形、古気候といった自然科学について理解を深めることになっています。

恐竜学部の総定員は 30 名、学校推薦型選抜や総合型選抜と一般選抜が行われました。総合型選抜では募集定員 6 名に 63 名が応募、倍率は 10.5 倍となりました。年明けの一般選抜では、共通テストと個別試験によって合格判定がなされ、前期試験(募集人員 15 名)で 7.3 倍、後期試験(同 3 名)では実に 27.3 倍という異例の高倍率となりました(実質倍率は未発表)。

恐竜は今から 2 億 5000 万年前から 6500 年頃まで生息したとされ、カナダには世界遺産に指定されている「アルバータ州立恐竜公園 Dinosaur Provincial Park」があり、ほぼ水平に堆積した「バッドランド」と呼ばれる赤茶けた地層から数々の恐竜化石が発掘されており、有名な観光スポット、映画のロケ地としても人気となっています。実は、ここ以外にも恐竜学や古生物学等について学べる大学は他にもあり、国立大学では東京大はもちろんとして北海道大、東北大、熊本大、鹿児島大など 10 大学で、私立大学では早稲田大、福岡大など 4 大学の主に理学部の地質学・地球科学系統の学部学科等でも学ぶことができます。本校でもこの分野に進んだ卒業生もおり、中には美術系大学に進みながらも「一般教養」の講義で受けた授業で化石の美しさに目覚め、カナダまで恐竜化石発掘調査に同行した強者もいます。不透明な時代と言われていますが、大学で学ぶ目的と意義をじっくりと考えてみるのが大切ですね。



福井県立大学パンフレットより

石飛 一吉

### 参考図書

土屋 健、監修:群馬県立自然史博物館(2023)『カラー図説 生命の大進 40 億年史中生代編恐竜の時代 — 誕生、反映、そして大量絶滅』講談社ブルーバックス,352 ページ。